

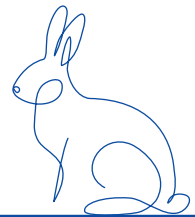
ほしい抗体をカスタムで作製! 必要なサービスを選択できるから無駄がない!

モノクローナル抗体作製受託

抗体作製でお困りではありませんか?

ウサギ フェージディスプレイ法^{なら}

- ✓ 親和性、特異性の高い抗体が取得可能
- ✓ 抗体遺伝子ライブラリーを作製するため、ほぼ全ての抗体(遺伝子)が選択可能
- ✓ 10⁸以上の抗体(遺伝子)の取り扱いが可能



フェージディスプレイ法やハイブリドーマ法の技術もご紹介!

MBL 抗体医薬開発



ウサギモノクローの取得例

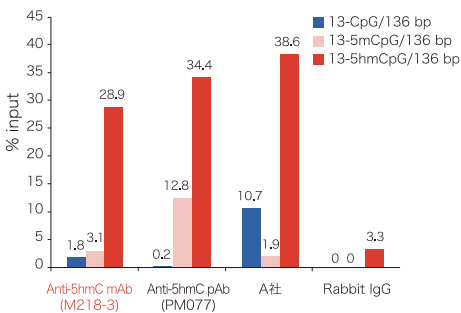
抗5-hydroxymethylcytosine (5hmC)抗体(クローン:1G10)

Hydroxymethylated DNA Immunoprecipitation

Hydroxymethylated DNA Immunoprecipitation (hMeDIP)を行った結果、幅広い修飾レベルのDNAサンプルを効率的に免疫沈降できることが分かりました。

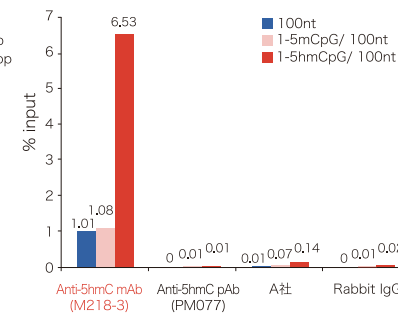
<検討サンプル>

136塩基中に5mCまたは5hmCを13カ所含んだDNA



<検討サンプル>

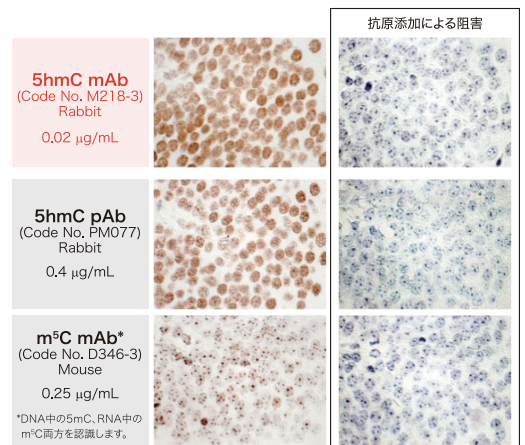
100塩基中に5mCまたは5hmCを1カ所含んだDNA



Sample: Mouse Liver genomic DNA (1 µg)+PCR synthesized DNA (50 pg)
Antibody: Code No. M218-3, Code No. PM077, A社 抗体 or Nomal Rabbit IgG

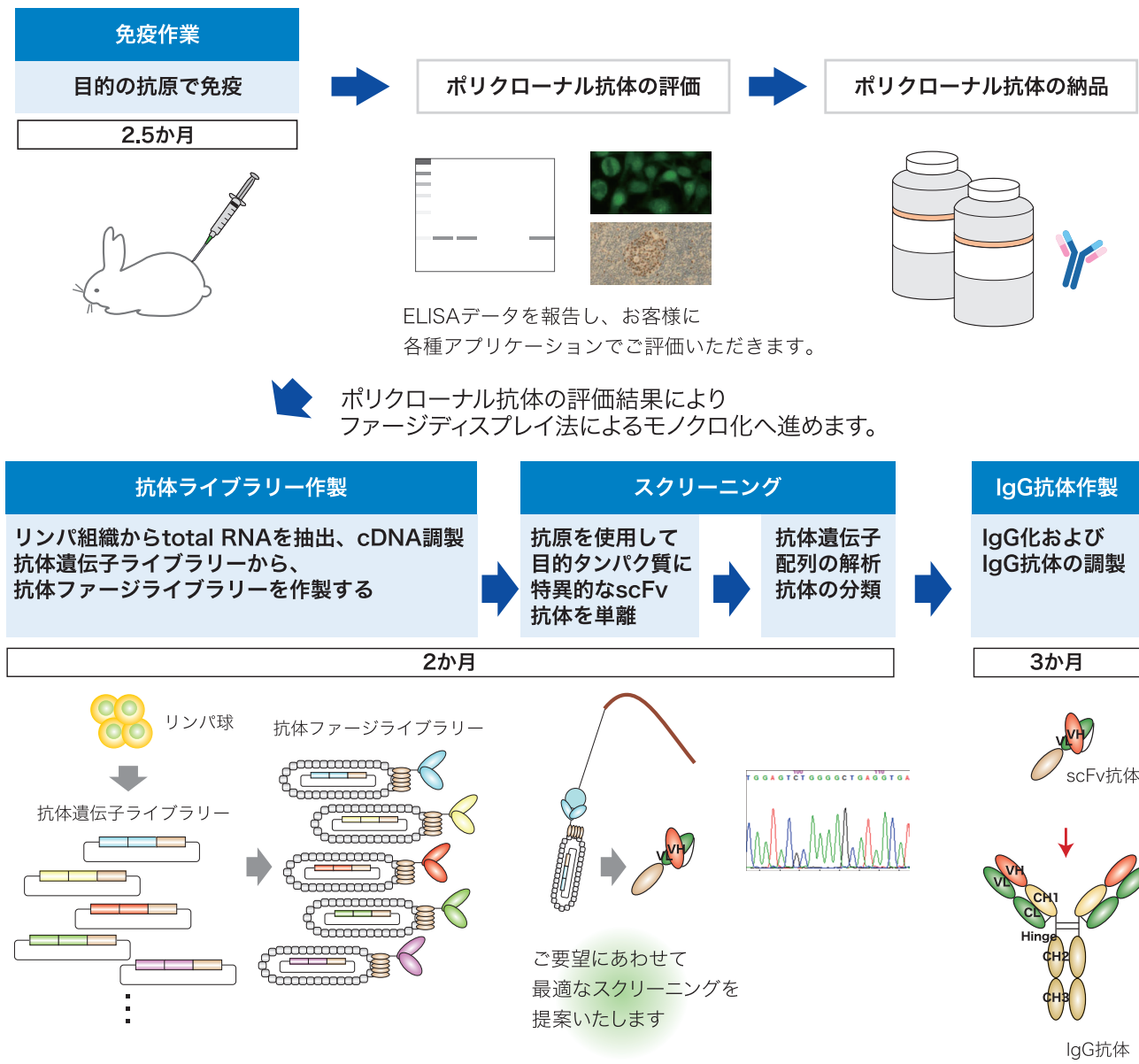
Immunohistochemistry

1次抗体反応時に抗原(5hmC)を添加した結果と比較することにより、内在性の5hmCが特異的に検出されることを確認しました。



組織: マウス脳(海馬領域よりやや前方) 13-14週齢、オス
賦活化: 熱処理(95°C, 40分)

ファージディスプレイ法によるウサギモノクローナル抗体作製受託工程



全て国内作業だからできるフレキシブルな対応！

- 自社で抗体作製のリソースがないので外注したい

▶ ニワトリ、マウス、ウサギ等の動物からの抗体取得が可能
- ハイブリドーマを取得済みで、最適化してほしい

▶ ヒト化、アフィニティマチュレーション、二重特異性抗体
- タンパク質としての物性も気になる

▶ 安定性、溶解度など物性パラメータ解析

本紙記載の製品・サービスは研究用です。診断および治療目的には使用いただけません。
記載内容は2023年7月時点の情報です。最新の情報は当社までお問い合わせください。ご使用の際には、データシートをよくお読みください。

Copyright © 2023 MEDICAL & BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD. All Rights Reserved.

2023.07 155041-23071001N

MBL 株式会社 医学生物学研究所

A JSR Life Sciences Company <https://ruo.mbl.co.jp/>

© 学術部

〒105-0012

東京都港区芝大門2丁目11番8号 住友不動産芝大門二丁目ビル

TEL : 03-6854-3614 E-mail : support@mbi.co.jp